

川崎

絵手紙作りを体験した参加者



地域ぐるみで健康、元気づくりを

2月11日、川崎町健康福祉まつりが川崎公民館で開催されました。

障害者や高齢者の作品展示やほのぼの絵手紙作り体験、中学生と乳幼児が触れ合うキューピー広場、生活習慣改善の指導などが行われ、「地域ぐるみで生涯を通じた健康・元気づくり」をテーマに楽しく交流を行いました。

午後には川崎町社会福祉大会が行われ、社会福祉事業や社会奉仕に貢献のあった個人や団体に表彰状と感謝状が贈られました。

華麗な舞に拍手喝さい

2月5日、川崎町芸能発表大会が川崎公民館で開催されました。

大会は、川崎芸術文化協会の主催で、19団体が32演目を披露。小学生から高齢者まで幅広い年齢層の出演者が、日ごろの練習の成果を思う存分に発揮していました。華麗な舞が披露されるたびに、満員の会場からは拍手が送られていました。

19団体が熱演した芸能大会



千厩川に稚魚を放流した園児たち

大きくなって帰ってきてね

2月7日、石畑地区の千厩川に川崎保育園(高橋かよ子園長、園児104人)のひまわり組園児や祖父母ら35人が、サケの稚魚放流を行いました。

水質の保全事業の一環として千厩川水質保全対策協議会が開催。10センチくらいに育った稚魚1500匹を小さなバケツで思い思いに放流した園児たちは、「大きくなって帰ってきてね」と元気に泳ぐ稚魚を見送りました。

歓声がリンクにこだま

2月4日、少年少女スケート教室が千厩アイスアリーナで開催されました。

教室は川崎公民館の主催で行われ、36人の子どもたちが参加。川崎町体育指導員の岩渕正義さんと廣長千鶴子さんが、滑走の基本や止まり方、安全な転び方を指導しました。

子どもたちは、手をつないで自由にリンクを回ったり、手すりにつかまり恐る恐る滑ったりし、大きな歓声がリンクにこだましていました。



楽しく滑ったスケート教室

観衆を楽しませた松尾さん



元新日鐵釜石ラグビー部 松尾雄治さん迎え講演会

平成18年度一関市スポーツ講演会が1月28日、文化センターで行われました。ラグビー選手・監督として新日鐵釜石の日本選手権V7達成に貢献した松尾雄治さんを講師に迎え、高校生やスポーツ関係者など500人が参加しました。

現在、成城大学ラグビー部監督や日本ラグビーフットボール協会普及育成委員などを務める松尾さんは、「挑戦する心」と題して幼いころやラグビー日本代表時代、新日鐵釜石時代の体験などを、ユーモアも交えながら話しました。

アイデアいっぱい 大きな雪像が完成

第23回一関雪まつりが2月5日、祭時の健康の森入口特設会場で開かれました。

まつりには、▽本寺▽小猪岡▽瑞山▽達古袋▽山谷▽猪岡▽五串▽狐禅寺小屋の8グループ、450人が参加。雪が降りしきる中、それぞれのグループが大人も子どもも力を合わせて、アニメキャラクターなどを題材とした高さ約3メートルの雪像を作り上げました。



最高賞の芸術大賞を受賞した瑞山地区の皆さんと作品「キッコロ」

熱戦を繰り広げる小学生



世代を超えて 楽しくプレー

ソフトバレーボールフェスティバルが1月22日、一関市総合体育館で行われました。

このフェスティバルは市民の健康増進などを目的に毎年行われているもので、今回で12回目。試合には一関地域から76チームのほか花泉、千厩、東山の各地域から6チーム、児童から50歳代まで391人が出場し、優勝を目指して熱戦を繰り広げました。

気軽に楽しめる ニュースポーツ

さわやかニュースポーツ交流大会が2月11日、一関市総合体育館を会場に開かれました。

大会には応援も含め約50人が参加。2人1組でスクエアゴルフ、ハイネットバドミントン、ラージボール卓球、ラケットテニスの4種目を和やかに対戦し、交流を深めました。



ラケットテニスを楽しむ参加者